



① 呂古書房

平成5年開店の「呂古書房」は神保町で初めて女性店主が独立開業した豆本専門店。サイズは文庫本の半分以下で、当店には印刷博物館で作られた0.95角の本まである。装丁の美しいものから印刷技術を競うマイクロ印刷本まで種類はさまざま。「豆本は小さいからこそできる贅沢さがある。装丁に古布や和紙などの素材を生かし、文字も印刷し、製本も丁寧。お金と手間をかけた豆本は本としても一級品」(店主)。豆本のほか児童書、版画挿絵本、蔵書票など愛らしく美しいもので溢れる。特に店主が敬愛する武井武雄に関して扱いが広い。

03-3292-6500
千代田区神田神保町1-1 倉田ビル4F



② 羊頭書房

SF・ミステリファンの間で、行けば買うべき本が見つかる」と評判の店。店内に入ると「絶版・品切れ文庫サービス品、全品200円以下」という張り紙が目飛びこんでくる。ペーパーバックが積まれたコーナーは、1冊300円、500円と買いやすい値段。棚と棚との間隔がゆったりしているので、落ち着いて物色できるのが嬉しい。書棚の4割はSF・ミステリで占められ、主流は翻訳もの。洋書にも力を入れている。その他ファンタジーや幻想文学、競馬をはじめとするギャンブルや囲碁・将棋・パズルなどのゲーム、奇術・手品関係の書籍など趣味の本が揃う。

03-3518-2950
千代田区神田神保町1-25 神保町会館1階



③ ビブリオ

「ビブリオ」は、スポーツ関連書をメインに扱う古書店。店主は、肉筆原稿や稀覯本(きこうぼん)で有名な玉英同書店で修業の後、独立。代々木で開業し、渋谷を経て、平成18年、神保町に移転した。品ぞろえのほとんどは客からの買い取り。野球を中心に、プロレス、サッカーなどスポーツ全般を扱う。高校野球ものには思い入れが強い。有名選手のサインボールや色紙、使用済みユニフォームなどグッズにも力を入れる。「玉英堂で修業したおかげで現物にアレルギーがないんです。懐かしい往年の名選手たちの息吹を感じてください」(店主)

03-3295-6088
千代田区神田神保町1-25 叶ビル1F



④ 田村書店

仏独文学を中心にヨーロッパの哲学・歴史・美術に関する書籍、洋書の稀覯書を扱う専門店。入口両脇には神社の千社札のように、全集の値札がこれでもかと言わんばかりに、数限りなく貼られている。扱う全集の数が多すぎて、実物はお店の人に頼んで出してもらわなければならないほど。1階には日本の近代文学や、西洋の古典を中心とした翻訳もの、哲学書やその研究書、2階には洋書が並ぶ。蒐集家には料理本(原書)、挿絵本、美麗装丁本が特に人気。店頭では日本一質が高いと言われる特価セールが行われ、いつも多くの人でにぎわっている。

03-3291-0563
千代田区神田神保町1-7



⑤ 明倫館書店

理工学・自然科学系の学術専門店で、数学関連は随一の品揃え。学術書が多く、硬い店というイメージもあるが、実は読み物、趣味的な本や雑誌も扱っている。古いラジオや時計の修理の本や、建築関係の意匠・デザインを扱った名著などは、値段によらず入荷すればすぐ出てしまうほどの人気。店頭の特価本にはいつも人が群がっていつ、回転が早い。オーディオ、無線関係の本を探すマニアは必ずと言っていいほどの店を訪れる。ホームページにも力を入れていて、顧客が探している本が見つかったらメールで連絡するサービスも行っている。

03-3294-0446
千代田区神田神保町1-9



⑥ けやき書店

昭和62年(1987)開業の「けやき書店」は、「文学好きにはたまらない品ぞろえ」で一目おかれる。芥川・直木賞作家、明治・現代の初版本や限定本、直筆書簡類、初出雑誌を扱う近代文学の専門店だ。特に太宰治、坂口安吾ら無頼派の初版本が充実。現在、活躍中の作家はサインの有無がポイント。同店によると村上春樹、京極夏彦、宮部みゆき、高村薫の署名本は特に人気が高く、さらに別格が金原ひとみ、綿矢りさ。目録は年4回発行。「本の発送先は自宅宛て、目録は一刻も早く見たいから会社に送って、という人もいますよ」(店主)

03-3291-1479
千代田区神田神保町1-9 ハヤオビル6F



⑦ 高山本店

神保町のシンボルともいえる神田古書センターの玄関口に店を構えるのは、創業明治8年(1875)、この街で一番の老舗「高山本店」。能、狂言、歌舞伎、武道、料理などに特化した品ぞろえで有名な古書店だ。大作家との交流も深く、作家の求める資料を探し集め、提供する。特に司馬遼太郎は資料集めを当店に任せ、その買い方は豪快で周辺書籍を総集めしたため、「ある日、あるテーマの本が神保町からごっそり消える」という司馬遼太郎伝説も生まれたほど。

03-3261-2661
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター1F



⑧ みわ書房

「みわ書房」は、「親子で来られる古本屋」が motto の児童書専門店。子ども向け絵本と読み物、大人向け児童文学評論、絶版の古書を扱う。子供向けの読み物は、内外を問わず、古典から現代文学までカバーする充実ぶりが店の柱。これが書棚の半分以上を占める。『世界名作選』『日本児童文庫』シリーズなど、戦前に出版された貴重な名著も手頃な価格設定。装丁も美しく、美術関係者で買い求める人も多い。「今は浦島太郎もアニメになるけど、やっぱり日本の古典文学や民話は日本人らしい挿絵の絵本で読んでほしいですね」(店主)

03-3261-2348
千代田区神田神保町2-3 神田古書センター5F



⑨ 八木書店 古書部

創業は昭和9年(1934)、「八木書店 古書部」は上代から近現代までの日本文学を扱う。歴史的に極めて価値の高い本の影印本、近代文学の初版本や草稿、自筆物の充実が特徴だ。その一例、正倉院で千年以上保管されている文章を精密な写真と印刷、劣化の少ない中性紙で再現する「正倉院古文書影印集成」は研究者垂涎の的。管理システムに先端技術の導入や、新刊書のバーゲンブック(特価本)など業界先駆けの取り組みでも知られる。年に2回、近代文学の魅力を深める特別講座を開催(参加無料)。目録は1月、10月の年2回発行。

03-3291-8221
千代田区神田神保町1-1



⑩ 玉英堂書店

「玉英堂書店」は希少で優れた貴重な「稀覯本(きこうぼん)」の専門店。明治35年(1902)に本郷湯島天神下で古本兼貸本業として開業し、大正15年、神田神保町に移転。そして「オリジナルだけが持ちうる筆跡、装丁、紙質により作家が生きた時代に近づきたい」(店主)との思いで昭和55年、2階に稀覯本と自筆物の「特選ルーム」を開設。室町後期の源氏物語絵巻、良寛の書、司馬遼太郎の肉筆原稿など、文学史・美術史で知る名前がひしめく、密度の濃い光景だ。観覧自由。目録は年3~4回発行。

03-3294-8044
千代田区神田神保町1-1



⑪ 農業書センター

日本で唯一の農業所専門の書店、「農業書センター」。平成26年(2014)に大手町ビルから移転し、現在の場所へ。農業に関する書籍を約36000冊販売しており、一般書店では入手することの難しい専門書も扱っている。技術書、専門雑誌から料理本や園芸の本まで、店頭に並ぶ本は多岐に渡る。専門家でなくとも十分楽しめる店である一方、マニアックな本も多く、訪れる度に新たな発見がある。スタッフの方に声をかければ、本選びの相談にも快く応じてくれる。店へ続く階段はギャラリーになっていて、そちらもおすすめ。

03-6261-4760
千代田区神田神保町2-15-2 第1富士ビル3階



⑫ 村山書店

建築・理工系の書籍が多いが、心理・哲学・宗教・歴史・法律など人文系も揃う。コンディションのいい専門書をできるだけ安く提供する店で、発売からさして時間の経っていない新刊本もいち早く店頭と並ぶ。特に講談社学術文庫に関しては他の追随を許さないほど力を入れており、散り散りにならぬようまとめて引き取ることで在庫を支え、日本中の「探している人」の要望に添えている。それに加えてクラシック音楽やカメラ、ガイドブックなど趣味の本も豊富。店先には国内外の怪談・奇談小説などホラー関連の書籍が一箱程度並んでいることも。

03-3291-1617
千代田区神田神保町1-3

